



のぼりたて ゆき
登立 由貴さん

生年月日：1970年3月9日
出身地：神奈川県藤沢市
趣味：旅行

被災した福島の力になりたい yuki noboritate

—自己紹介をお願いします。

神奈川県座間市からきました登立です。以前は、小学校の栄養士をしていました。

—国見町の地域おこし協力隊になろうと思ったきっかけは？

東日本大震災で被災した福島を見て、福島のために何かしたい、福島のために自分にできることは無いのかと考えていた時に、地域おこし協力隊の募集記事を偶然見つけました。福島県内でいくつか募集している自治体がありましたが、栄養士の

資格を活かして町おこしに協力できるのが国見町だったので、国見町を選びました。

—国見町の印象はどうか？

国見町に来ていちばん驚いたことは、風が強いこと。雨がななめに降ってきて驚きました。雪が降ったらどうになってしまうのか…。今から期待と不安でいっぱいです。

—町民のみなさんへ一言

なるべく早く福島弁を覚えられるように頑張ります！よろしくお願いします。



国見のみなさんは優しいです

shiina igarashi

—自己紹介をお願いします。

神奈川県藤沢市からきました五十嵐です。協力隊員になる前は大学で畜産について学んでいました。

—国見町の地域おこし協力隊になろうと思ったきっかけは？

福島県出身ですが、大学が関東だったため福島を離れました。都会での生活は便利ではありましたが、福島の良さを実感し、福島に戻って就職したいと思っていました。

自分のやりたいことが定まらず就職活動を続けていましたが、悩んでいたときに地域おこし協力隊の募集

を知り、自分のやりたいことに近いと思い応募しました。

—国見町の印象はどうか？

町民のみなさんがとても優しいです。商店街で買い物をしているとみなさん声をかけてくれます。この前「寂しくなったらいつでもはなしにきてね」と言われ、涙が出そうになりました。

—町民のみなさんへ一言

今後みなさんと会う機会が増えると思います。よろしくお願いします。地域の活性化に貢献できるよう頑張ります！



いがらし しいな
五十嵐 詩菜さん

生年月日：1993年6月10日
出身地：福島県会津坂下町
趣味：絵を描くこと

みなさんはじめまして わたしたち「地域おこし協力隊」です。

4月から地域おこしに取り組む2人が国見町へ移り住みました。『地域おこし協力隊』の登立由貴さん(写真左)と五十嵐詩菜さん(写真右)まずは2人をご紹介します。

地域おこし協力隊って何？

地域おこし協力隊は、平成21年に国が作った制度です。地方での人口減少や高齢化などの問題を解消するため、都市部から地方へ移住し、地域活性化へ向けた取り組みを行ってまいります。任期は1年から3年で、地方公共団体の委任を受けて活動します。

全国では673自治体で導入されており、2,625人の地域おこし協力隊員がいます。そのうち県内では52人が活動しています(平成27年度時点)。

国見町の地域おこし協力隊 国見町でも人口減少や高齢化が進み、農業などの担い手不足が大きな課題となつています。そこで、町の基幹産業である農業の振興を目指し、町の活性化につなげていくため、4月から2人の地域おこし協力隊員が町内へ移り住み、町の活性化へ向けた取り組みを始めました。

2人は、国見まちづくり株式会社社に勤務し、町の特産品であるあんぼ柿などの生産技術の習得、農産物のブランド化や6次化商品の開発、農産物に関する情報発信やPRなど様々な活動に取り組みます。国見町の農産物の魅力を町外へ広くPRし、担い手の確保や農産物のファン獲得を目指し、農業振興や地域の活性化へつなげていきます。

これからの町を考える

国見町地域おこし協力隊の TwitterとFacebookを開設しました

隊員の活動や町の魅力を随時発信していきます。町外出身の2人の視点から見た、国見町の新たな発見があるかもしれません。ぜひご覧になり、隊員と情報交換しましょう！



国見町地域おこし協力隊

